

# スマートサイトの活用を

## いろいろな見え方を通じて 視覚障害の当事者から②

「スマートサイト」という言葉を皆さんは聞いたことがありますか。視覚に障害があって見えない、見えにくい方（以下ロービジョン）への情報提供の一環として、各都道府県の眼科医会などが発行しているリーフレットです。ロービジョンをサポートしている医療機関や盲学校などの教育施設、各当事者団体などの案内が記載されています。大分県眼科医会ホームページ（<http://www.oitaeye.jp/ss.html>）からダウンロードできるほか、県内の眼科などで手に入ります。

私自身も治療法がない網膜色素変性症という病気で視覚障害になり、うまく付き合いながら生活していますが、たまには半分開き直りながら生きてきました。この病気になって良かったことなんてほぼないですが、あるとしたら、それは同じ病気や視覚障害の方と新しく友人になり何でも話せる横のつながりができたことです。

悩んでいるのは一人だけではないということをもっとたくさんの方に知ってもらいたい。そのきっかけにスマートサイトはなれるのではないかと感じています。実際に私はスマートサイトを活用して県盲人協会に所属する大分県内で唯一の歩行訓練士に出会えたのは大きな出来事でした。

歩行訓練とは白い杖（白杖）<sup>はくじょう</sup>を持って安全に歩けるようにする訓練です。歩行訓練士は、料理や音声パソコンを使えるようにする生活訓練などの支援もしてくれて、QOL（生活の質）の向上につながります。

私は一昨年、視野（見える範囲）が狭くなって車の運転をやめる際、営業の仕事ができなくなると困っていましたが、歩行訓練士を通じて就労相談の団体につなげてもらいました。団体のアドバイスで、職種を変えてもらうように交渉したり、産業医からの就労継続

このリーフレットは、「見えない」「見えにくい」ことでお困りの方が、適切な指導や訓練などの紹介を受けられるように、大分県内の業種や団体を各県内する目的で作成しました。

対象は、  
 メガネをかけても視力が両眼とも0.4以下の方  
 視野が狭い方、視野に見えない部分がある方  
 まぶしくて居る方  
 目のことで学業や仕事、家事などに不安や不自由がある方

大分県版 ロービジョンケアネットワーク  
**ほっとネット**  
 医療 行政 教育 福祉 労働 年金

発行：大分県眼科医会  
<http://www.oitaeye.jp/>

大分県眼科医会が発行しているスマートサイト

可能な意見書を提出してもらったりと、さまざまなアドバイスをもらいました。当時は職場を辞める選択肢しか考えておらず、将来が見通せない状態でしたが、協力のおかげもあり、今でも同じ職場で働き続けています。

視覚障害とひとくくりに言っても、人それぞれ見え方が違うように悩んでいる状況も違うと思います。そのような方に少しでも道しるべを照らす灯台のような存在にスマートサイトがなり、多くの方に知ってもらえたらと願います。(山元正史、大分県網膜色素変性症協会)

= 随時掲載 =

山本さんのホームページのQRコード

